

平成24年度事業計画

1. 防錆に関する調査研究を行う事業

1.1 防錆防食材料部会

防錆防食材料部会（部会長 アドコート㈱ 清水良直殿）は、正会員のなか防錆油剤、気化性防錆材料、ペトロラタム系防食テープ、自動車用ケミカル用品の生産者、取扱者で組織する会で、それぞれ防錆油分科会（分科会長 出光興産㈱ 有田裕司殿）、気化性防錆材料分科会（分科会長 アドコート㈱ 清水良直殿）、被覆防食材料分科会（分科会長 ヤマウチ㈱ 細見 勉殿）、自動車用化学製品分科会（分科会長 制研化学工業㈱ 安実港殿）の4分科会で構成されている。

気化性防錆材料分科会は、JIS Z 1535（気化性さび止め紙）を現状の市場実態に合致した内容に改正するため、改正素案を作成するとともに、近年使用実績の伸びているさび止めフィルムについて新規JIS原案を作成したい。

また、協会が実施するJIS Z 1519（気化性さび止め剤）改正原案作成委員会に生産者の組織として協力したい。

1.2 溶射部会

溶射部会（部会長 独立行政法人海上技術安全研究所 植松 進殿）は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動するとともに、昭和61年に開始した溶射鋼管杭の暴露試験を継続し、26年目を迎える鋼管杭及び8年目を迎える補修溶射鋼管杭についても試験を継続し、経過観察を行いたい。

また、講師を招いて溶射皮膜の評価法、施工事例などセミナーを企画、開催するとともに溶射鋼管杭の暴露経過を防錆防食技術発表大会に発表したい。

2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

2.1 防錆技術学校

防錆防食専門技術者を養成するため通信教育「第52回防錆技術学校」を経済産業省、国土交通省、中小企業庁、日本商工会議所の後援を得て実施したい。

教育の内容は、専門分野別に施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成し、講師には産学官界より有識者79名を迎え、専攻課程の教材改訂を積極的に推進するとともに、平成22年度に設置した基礎課程教材改訂委員会（委員長 日本大学 大野 茂殿）を引き続き開催し教科書の抜本改訂を推進したい。

2.2 防錆管理士会

防錆管理士に認定された方々で組織する防錆管理士会（会長 日本大学 大野 茂殿、幹事長 ㈱竹中工務店 長谷川 完殿）は、東日本、東海、西日本、九州、沖縄の5支部で、講演会、見学会等の行事活動を積極的に展開しており、引き続き平成24年度も計13回の行事を実施したい。

また、一般社団法人となる協会傘下の組織として、その運営形態と組織を見直し、より一層会員のための事業活動を実施したい。

3. 防錆に関する日本工業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

3.1 国際規格

平成5年より継続して実施しているISO（国際標準化機構）/TC（専門委員会）35（ペイント及びワニス）/SC（分科会）12（塗料・関連製品施工前の鋼材の素地調整）にかかわる国際規格に対応するため、委員会を組織したい。また、回答原案を作成、回答するとともに、国際提案を推進するため、積極的に国際会議に参加したい。

3.2 日本工業規格

JIS Z 1519（気化性さび止め剤）の改正について、平成23年12月から財団法人日本規格協会の資金協力を得て実施している事業について、引き続き平成24年度も委員会を開催し、平成24年10月末の答申期限内に改正原案を完成させたい。

また、さび止めフィルムの新規JIS原案並びにJIS Z 1535（気化性さび止め紙）の改正原案を作成するにあたり、資金並びに規格様式の助言指導を受けるため、一般財団法人日本規格協会の「平成24年度（後期）JIS原案作成公募制度」に応募したい。

更に、JIS K 3151（塗装下地用りん酸塩化成処理剤）、JIS Z 0305（鉄鋼の化学的清浄方法）についても改正案作成の検討を行いたい。

3.3 規格書籍販売

一般財団法人日本規格協会からの委託を受け、ISO並びにJIS規格を会員に割引価格で頒布したい。

4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれを配布する事業

4.1 機関誌「防錆管理」

機関誌「防錆管理」は、編集委員会（委員長 岡 襄二殿）の企画編集により、第648号から第659号まで毎月発行し、防錆防食の専門分野ごとの記事と「講座」「防錆防食文献リスト」「防錆防食用語解説」を掲載するなど、会員の事業に役立てたい。

また、編集委員会は、有識者と各専門部会の代表並びに支部の代表で構成したい。

4.2 書籍販売

平成23年10月に発行した「防錆防食用語辞典」の拡販に努めるとともに、改訂版発行のための編集に着手したい。

5. 文献、資料及び情報の収集を行い、これを閲覧に供する事業

5.1 第32回防錆防食技術発表大会

第32回防錆防食技術発表大会実行委員会（委員長 阿部正美殿）を組織し、平成24年7月12日、13日の二日間、東京・五反田の「ゆうぼうと」において開催したい。

一般発表のほか、事例発表を集め、生産技術、メンテナンス、新施工法などの幅広い内容で、研究者・技術者に対し、発表・聴講の場を提供し広く防錆防食技術の発展普及に努めたい。

特別講演2件のほか、「いまさら聞けない用語」の解説、ビデオ上映などを行いたい。

5.2 インターネットによる情報の提供

ホームページ（www1.sphere.ne.jp/jacc/）を通じて、引き続き以下の情報を提供し、情報公開、会員サービスを行いたい。

(1) 事業計画及び報告

(2) 協会事業

- ①防錆技術学校の案内
- ②防錆防食技術発表大会の案内
- ③講演会、見学会など行事の案内
- ④出版物の案内
- ⑤防錆管理士資格者の所在不明者調査
- ⑥その他

6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

第32回防錆防食技術発表大会において、新製品・新施工技術の紹介を行うセッションを設けるとともにカタログコーナーを設置し、会員をはじめとする企業の製品、技術の最新情報を大会来場者に提供したい。

7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

会員並びに広く一般から防錆防食に関する試験依頼を受託し、試験設備を保有する関係団体と連携してこれに応えたい。また、会員からの技術相談にも応じたい。

8. 防錆に関する技術向上のため発明、研究に対する顕彰を行う事業

次の各賞ほかに、会員から候補を募り推薦したい。

- (1) 一般財団法人 機械振興協会（新機械振興賞）
- (2) 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団（スガウエザリング技術振興財団表彰）
- (3) 一般社団法人 日本機械工業連合会（優秀省エネルギー機器表彰）
- (4) その他

9. 防錆に関する事項について政府その他に対し意見を開陳する事業

「公共建築工事標準仕様書」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）ほかの仕様書並びに指針の改正に際し、政府関係機関から改正意見を求められた場合、これに応えたい。

その他必要に応じ、防錆技術に関する意見を政府その他の機関に対し、開陳してゆきたい。

10. 本会の目的を達成するために必要な事業

10.1 支部事業

中部支部、関西支部、沖縄支部の3支部がそれぞれの地域の特徴を生かし、各支部の総会で議決された事業計画に基づき、講演会、講習会、見学会などの各種事業を実施したい。

10.2 関係学協会との協力事業

- (1) 関係学協会が主催する防錆防食技術関連の行事を協賛又は共催し、広く産業技術の発展に寄与したい。
- (2) 関係学協会が主催する委員会等に役職員を派遣して協力したい。